

2022年1-3月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:籾田健二)は、内閣府より5月18日(水)に公表予定の2022年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。
2022年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.2%(年率▲0.9%)と予測します。

2022年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.2%(年率▲0.9%)と2四半期ぶりのマイナス成長を予測する。

民間最終消費は、同▲0.3%と予測する。オミクロン変異株の感染拡大により、1-2月を中心に消費が抑制されたとみる。設備投資は、同+0.4%と予測する。資本財価格の上昇などにより、設備投資を先送りする動きがあるとみられ、小幅な増加にとどまったとみる。民間在庫は、消費が抑制されたことから流通在庫が増加し、+0.1%ポイントのプラス寄与を見込む。

輸出は、ウクライナ情勢悪化の影響が出始めているものの、欧米向けを中心に回復し、同+1.8%と2四半期連続の増加を予測する。輸入は、21年後半の減少からの反動やワクチンの調達増加などもあり、同+2.5%の増加を予測する。外需寄与は▲0.1%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2022年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2021年				2022年
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP	季調済前期比年率	▲0.5 (▲2.2)	0.6 (2.4)	▲0.7 (▲2.8)	1.1 (4.6)	▲0.2 (▲0.9)
民間最終消費		▲0.8	0.7	▲1.0	2.4	▲0.3
民間住宅投資		0.9	1.0	▲1.6	▲1.0	▲0.2
民間企業設備投資		0.4	2.0	▲2.4	0.3	0.4
民間在庫	寄与度	0.1	0.0	0.1	▲0.1	0.1
政府最終消費		▲0.6	0.7	1.1	▲0.4	0.5
公的固定資本形成		▲1.7	▲3.4	▲3.0	▲3.8	▲3.8
財・サービス輸出		2.2	3.1	▲0.3	0.9	1.8
財・サービス輸入		3.0	3.8	▲1.0	▲0.4	2.5
内需	寄与度	▲0.4	0.7	▲0.8	0.9	▲0.1
民間	寄与度	▲0.2	0.7	▲0.9	1.2	0.0
公需	寄与度	▲0.2	0.0	0.1	▲0.3	▲0.1
外需	寄与度	▲0.1	▲0.1	0.1	0.2	▲0.1
名目GDP	季調済前期比年率	▲0.5 (▲1.8)	0.2 (0.8)	▲1.1 (▲4.2)	0.3 (1.4)	▲0.1 (▲0.4)
GDPデフレーター	前年同期比	▲0.1	▲1.1	▲1.2	▲1.3	▲1.4
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.5	0.3	0.5	1.1	1.5

注：表中の実績値は2021年10-12月期2次QE。シャドー部分が今回の予測値。
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾

電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp
